

■沿革

- ・明治初期 丸田郷の人たちにより開かれた

- ・大正3年

長崎医科大学の教授らにより泉質が調べられ、

放射性物質（ラジウム）を含むことが確認された

- ・昭和初期 三菱長崎造船所の温泉保養所

- ・戦後 温泉旅館として営業

■沿革

- ・ 昭和48年 老人憩いの家として開所
- ・ 昭和58年 現在の働く婦人の家の一階に併設
(浴場は老人憩いの家をそのまま利用していた)
- ・ 平成13年
現在の老人福祉センター「丸田荘」供用開始

■竣工・供用開始

竣工 平成13年3月末

供用開始 平成13年4月から

■所在地

長与町丸田郷157番地2（働く婦人の家の隣）

■公共交通機関

「皆前橋」バス停留所から、徒歩10分ほど

■開館時間

午前9時から午後6時まで（浴場は正午から）

■休館日

毎週 火・金曜日、お盆、年末年始

■使用者の範囲

原則として、高齢者・障害者

（大人・こどもも利用できます）

■施設内の構造

一階 福祉事業用

二階 浴場・教養娯楽室

■使用料

項目	高齢者・障害者	中学生以上	小学生以下	町民以外
施設使用料	100円／回	200円／回	100円／回	300円／回
回数券（11回分）	1,000円／冊	2,000円／冊	1,000円／冊	3,000円／冊

■丸田荘の課題

- ・ 利用者数の減少と利用者の偏り
- ・ 経常的な赤字
- ・ 設備の更新時期が到来している

■調査の実施（令和7年9月から同年10月末まで）

丸田荘（浴場）の今後の方向性を検討するため、

アンケート調査（利用者向け・町民向け）を実施

■アンケート調査結果（利用者向け）

- ・回答者数 **151名**

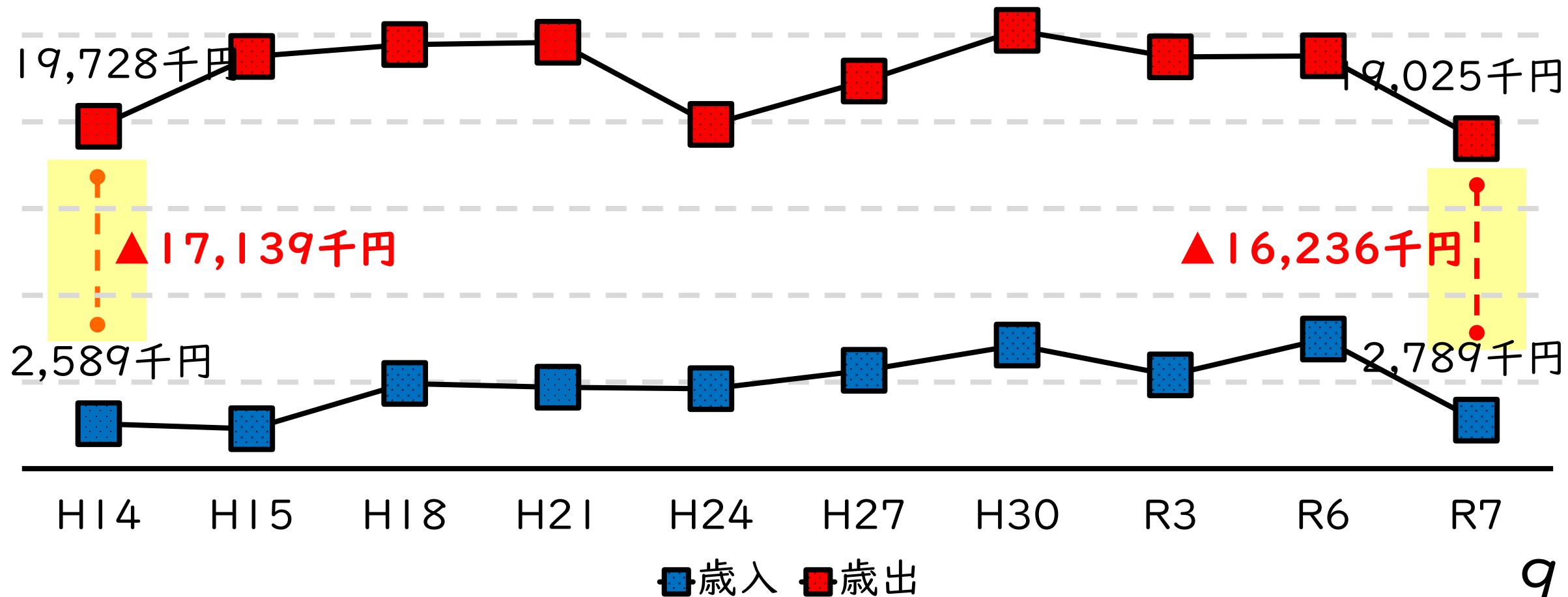
※町全体の高齢者数のうち、約1.0%

- ・回答者のうち、60歳以上の高齢者は、87.4%
- ・利用頻度が「**週に3日**」以上の回答者は、47.0%
- ・丸田荘を利用する理由や動機は、
「使用料（料金）が安いため」が最も多い

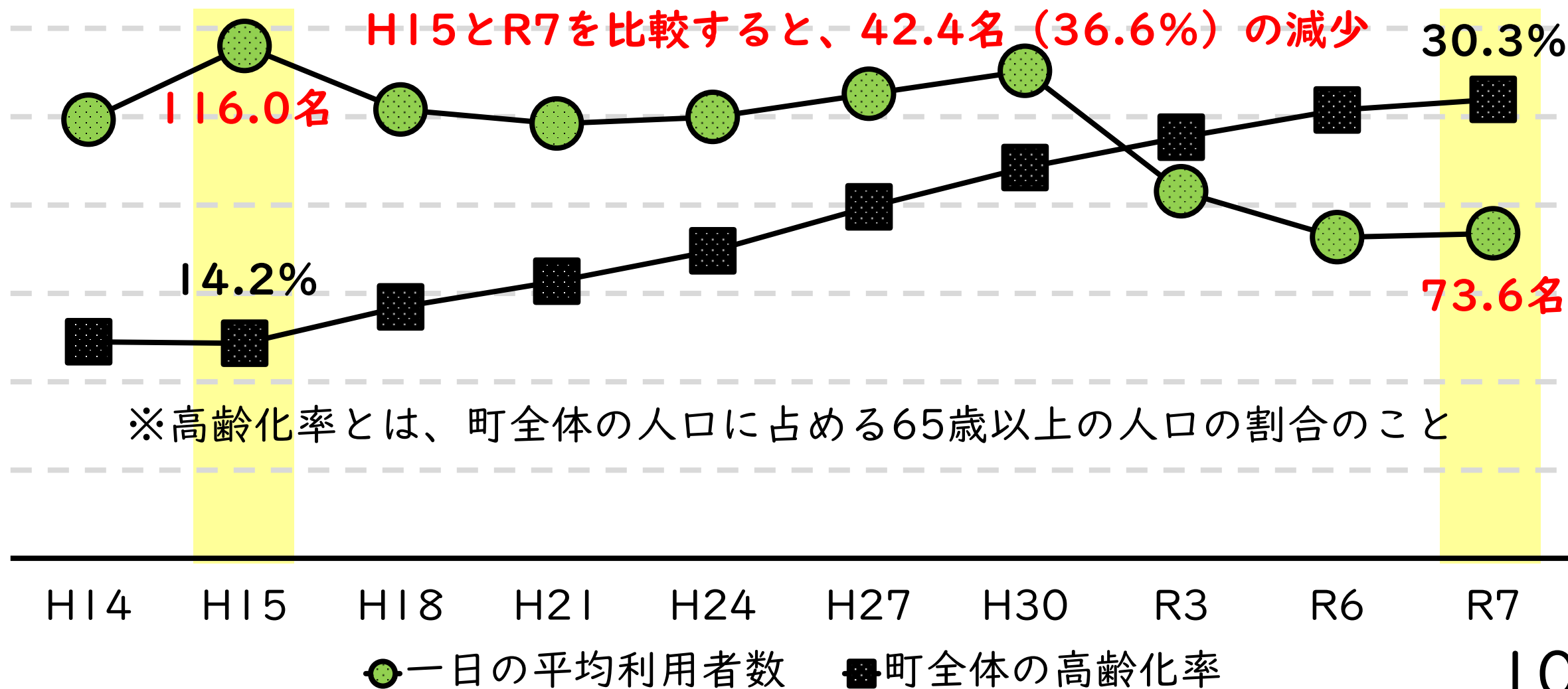
■アンケート調査結果（町民向け）

- ・回答者数 **396名**
- ・回答者のうち、60歳以上の高齢者は、64.4%
- ・丸田荘を「**知っていた**」77.3%
- ・そのうち「**利用したことがない**」88.9%
- ・丸田荘を知っているのに利用しない理由は、
「**自宅で入浴するので行く必要がない**」が最も多い

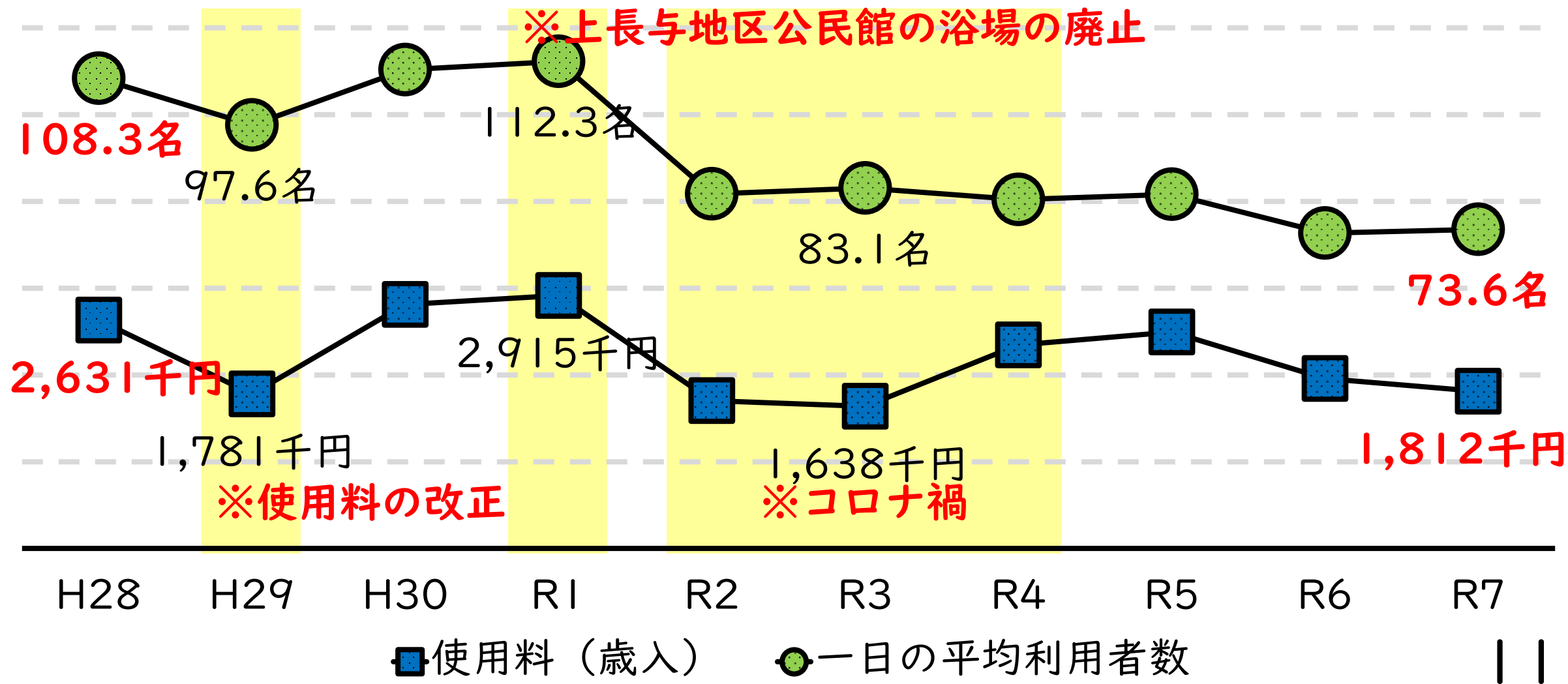
■歳入・歳出の推移



■一日の平均利用者数と高齢化率の推移



■使用料の改正などの影響



■更新時期が到来している設備の工事・修繕

- ・エレベータ改修 約13,000千円

耐用年数（20年）※既に到来している

- ・ボイラ改修 約10,000千円

耐用年数（10年）※既に到来している

- ・エアコン取替（1台） 約800千円

- ・膨張タンク取替、排煙窓取替 約700千円

■これまでの説明のまとめ

- ・ 長与町の高齢化率は増加しているのに、丸田荘の利用者数は**減少傾向**であること
- ・ **実利用者数**が少なく、**偏っている**こと
- ・ アンケート調査結果で、丸田荘を知っているが、**「利用したことがない」**回答者の割合が高いこと
- ・ 設備の工事・修繕で**多額の改修費用**を要すること

■町の方針

丸田荘の浴場施設は、**令和9年3月末**で廃止し、
他の高齢者福祉施策を拡大する方向性で検討を行う

■説明会の実施

- ・ 令和7年12月2日 **全員協議会**で議会に説明
- ・ 令和8年2月14日、16日 **住民説明会**を開催

参加者数 **50名**（そのうち利用者は45名）

■住民説明会の参加者からの主な意見・要望

- ・ 拡大案として、具体的な内容の提示がない
- ・ 使用料（料金）を**増額**しても良いと思う
- ・ 利用者数の減少は、**周知不足**が原因だ
- ・ 丸田荘は**見守り**や**交流の場**としても機能している
- ・ 自宅に風呂があるため、**利用しようと思わない**
- ・ これからも**利用者数が増加することはないだろう**

■当日に配布したアンケート用紙のまとめ

(1) どのような高齢者福祉施策の拡大を望みますか

- ・ 浴場施設
- ・ 民間の温泉施設を利用する際の費用の一部を助成
- ・ 高齢者が楽しめるような施設
(映画やカラオケ、喫茶など)
- ・ 介護予防のためのサービスなど

■当日に配布したアンケート用紙のまとめ

(2) 廃止した場合の建物自体の今後の活用方法

- ・ 高齢者の居場所や多世代交流の拠点
- ・ 高齢者をはじめ、多くの方が利用できる憩いの場
- ・ サロン活動、研修施設
- ・ こども向けの全天候型の遊び場
- ・ 浴場施設以外では、利用者は増えないだろう

■当日に配布したアンケート用紙のまとめ

(3) 廃止に賛成する旨の意見

- ・ 特定の場所に集まる形ではなく、
より多くの高齢者に届くような事業を行うべき
- ・ 丸田荘は交通アクセスが悪く、利用しづらい
- ・ コミュニティとは人が集まる場所のことなので、
丸田荘は、コミュニティとして成立していない

■当日に配布したアンケート用紙のまとめ

(4) 廃止に**反対**する旨の意見

- ・ 浴場は高齢者にとって、**楽しみ**であり、
交流の場であり、**健康増進**に寄与している
- ・ 使用料を**増額**してでも、浴場を存続してほしい
- ・ 利用者自身で清掃などを行い、
人件費を削減させるなどの改善案を考えるべき

■住民説明会以降

- ・ **周知** 広報ながよ（令和8年4月号・7月号）
 - ・ 町内の**温泉事業者**と協議
 - ・ 県の**事業承継・引継ぎ支援センター**と協議
 - ・ 令和8年8月18日
- 「丸田荘の今後を考える会」が町に**要望書**を提出

■一日の平均利用者数の推移（前年同月との比較）

	4月	5月	6月	7月	8月
令和7年	81.1名	75.6名	69.5名	60.3名	58.8名
令和8年	85.5名	76.2名	72.4名	65.4名	61.6名
前年同月比	+4.4名	+0.6名	+2.9名	+5.1名	+2.8名

■高齢者交通費・健康づくり助成事業（現行）

対象者 **70歳以上の者** 助成額 **2,500円**

バス利用券、タクシー利用券、健康づくり助成券

■事業実績（令和7年度）

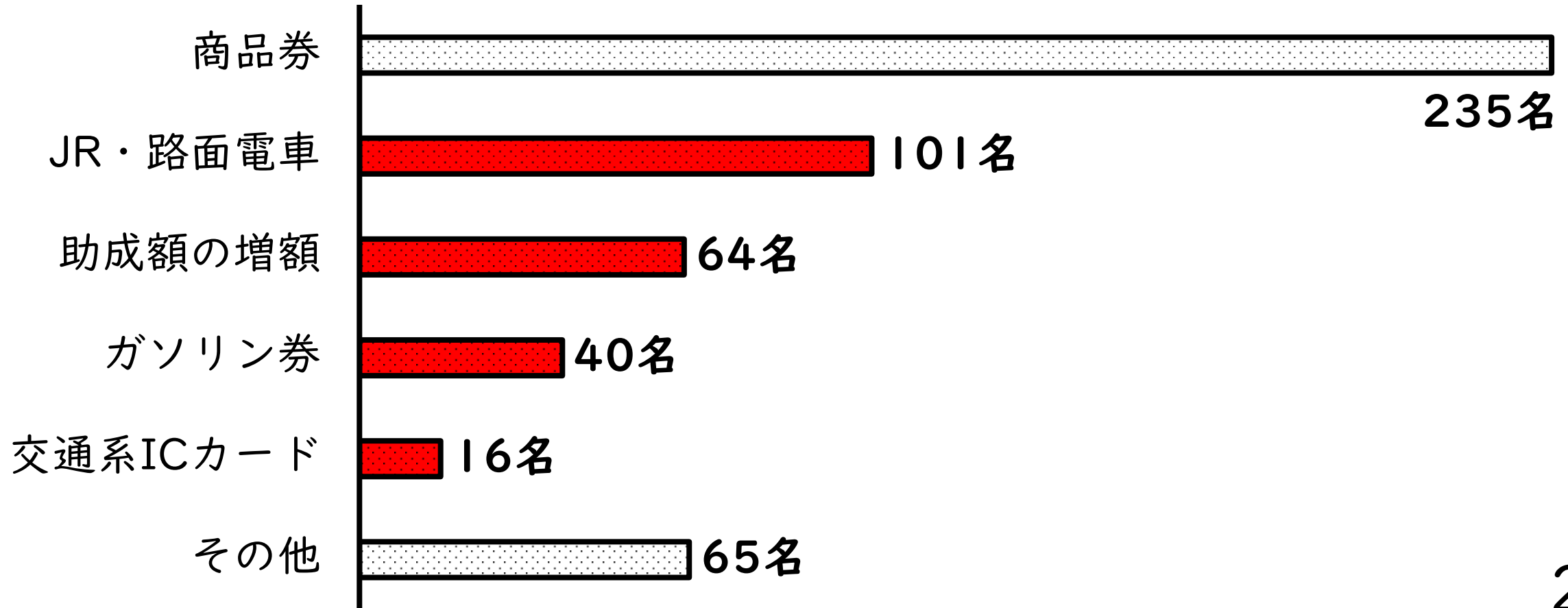
対象者数 9,655名

交付者数 8,343名 交付率 86.4%

支出額 16,703千円 利用率 80.1%

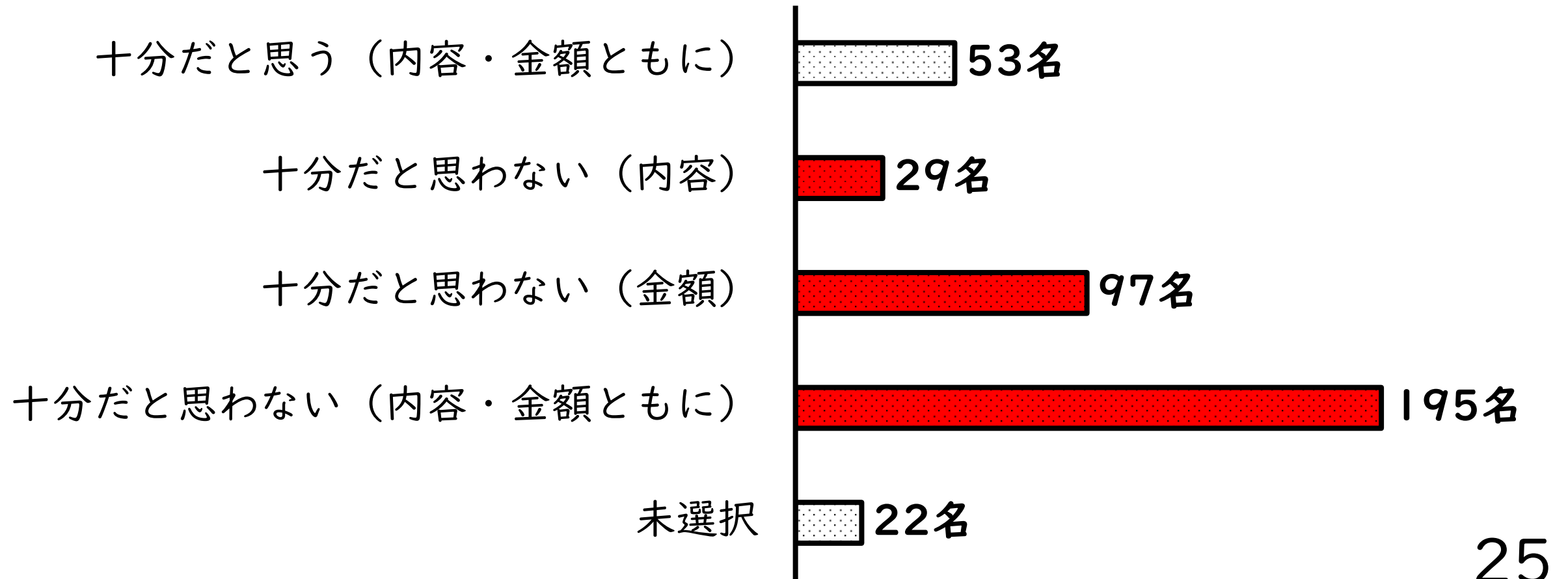
■引換券ハガキのアンケート調査（令和6年度）

「現行の利用券の他に、追加してほしいものはありますか」



■アンケート調査結果（町民向け）

「高齢者交通費・健康づくり助成事業」について



■高齡者交通費・健康づくり助成事業の拡大（案）

- ・助成額を**増額**
- ・JRや路面電車でも利用できる
- ・**「交通系ICカード」**を導入し、選択肢に追加
- ・健康づくり助成券に**「町内の理美容店」**を追加
- ・町内で利用できる**「ガソリン利用券」**を追加